長期戦略:テーマ 「教員個人・組織の教育力向上」

提出日 2020年 9月 10日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	北村高等教育推進センター長 (高等教育推進センター)	実施計画の 担当部署	教務機構
-----------------------	-------------------------------	---------------	------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(12)-⑥ 成績評価の厳格化	2019年度	2021年度	必要⇒【必須型】(全 学部または全研究科 での取組みが必須)	不要
内容				
<p>a. 学生による授業調査を現行制度から毎年全科目での実施へと転換し、結果も科目ごとに学内に限定して公表することを検討する。</p> <p>b. 学部等にて改善の必要があると判断された科目はシラバスとの整合性などの評価を行い、個別に支援して適性化を図る。</p> <p>c. 各科目の成績分布、過去5年間の試験問題、合格者のGPA平均値、必要な授業外学修時間の公表を検討する。</p> <p>(メモ)</p> <p>※成績評価の厳格化に関する取組みについて学部等に現状調査を行い、指標を決定する。</p> <p>※a. は成績評価の厳格化につながるのか、b. は実効性があるか、c. は公表のレベルをどうするのか、以上の検討が必要。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	成績評価の厳格化に取り組んだ学部数	成績評価の厳格化に取り組んだ学部数		
指標2	成績評価の厳格化に取り組んだ研究科数	成績評価の厳格化に取り組んだ研究科数		
指標3				

目標1<指標1>成績評価の厳格化に取り組んだ学部の割合

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標	2学部	5学部	8学部	11学部		
実績						

目標2<指標2>成績評価の厳格化に取り組んだ研究科の割合

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標	2研究科	6研究科	10研究科	13研究科		
実績						

目標3<指標3>

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標						
実績						

2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
成績評価の厳格化	策定段階	学部の取り組みに関する現状調査	方策検討	方策実施	方策実施	方策実施	
	2021 年 3 月 末段階	成績評価方法が単一の方法で実施されている科目について調査済					
			2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階	方策実施	方策実施	方策実施	方策実施		
	2021 年 3 月 末段階						
		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
	策定段階						
	2021 年 3 月 末段階						
			2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階						
	2021 年 3 月 末段階						

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019 年度 承認	2020 年度 承認	2021 年度 承認	2022 年度	2023 年度	2024 年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019 年度 承認	2020 年度 承認	2021 年度 承認	2022 年度	2023 年度	2024 年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	成績評価の厳格化に関する取り組みについて、学部等への調査内容の検討を進める予定である。 また、実施内容については高等教育推進センターと相談・検討をする。 成績評価方法について調査を行い、成績評価方法が一つのものが約半数を占め、そのうち、学部では約 30%が定期試験のみの評価であった。
2020 年度	
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	成績評価の厳格化に関する取り組みについての調査結果を受けて、方策の検討が必要である。
2020 年度	定期試験一回だけではなく各回の評価を積み上げ成績評価を行うことは、成績評価の厳格化とともに授業外学修時間の確保につながるため、具体的な方策の検討が必要である。
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	—
2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019～2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度授業スケジュール再編およびコロナ対策等を優先したため、実質的に取り組めていない状況である。 ・各教員へアンケート調査を行う予定であり、どのような質問項目とするか検討中である。 ・(2021 年度以降定期試験期間が短縮されることを念頭に)多面的な成績評価の導入・推進が必要。 	継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・同左(多面的な成績評価の導入・推進が必要) ※1-(12)-③CAP 制の実質化とあわせて検討する必要がある。

【フェーズ II (2022～2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	